

パネル展示及び説明会実施結果報告書

平成30年8月
西 東 京 市

目 次

1. 実施概要	1
(1) パネル展示・説明会概要.....	1
(2) アンケート調査項目.....	1
2. アンケート結果	2
(1) 基本属性.....	2
(2) パネル展示・説明会内容に関して.....	4
(3) その他自由意見の施策別整理結果.....	9
3. 参考資料	10
(1) アンケート調査票.....	10
(2) 展示パネル.....	12

1. 実施概要

西東京市では、市の最上位計画である西東京市第2次基本構想・基本計画の策定から5年が経過することから、まちづくりの進捗状況や市民の皆さまの新たなニーズ等を踏まえた後期基本計画を策定することとしています。

第2次総合計画（後期基本計画）（素案）についてご理解いただき、今後、本市のまちづくりの中心となる市民の皆さまからご意見をいただくことを目的として、市内においてパネル展示及び説明会を開催し、会場においてアンケートを実施しました。

（1）パネル展示・説明会概要

場所	実施日時	パネル展示 来場者数	説明会 参加者数	アンケート 回収数
柳沢公民館	平成30年7月10日（火） 午前10時～午後2時	29	-	10
スポーツセンター	平成30年7月11日（水） 午前10時～午後2時	48	-	17
アスタ センターコート	平成30年7月21日（土） 午前10時～午後4時 ※説明会2回実施（各30分）	132	16	39
ひばりが丘PARCO	平成30年7月25日（水） 午前10時～午後2時	28	-	4
計		237	16	70

（2）アンケート調査項目

- 基本属性（年齢、性別、居住地）
- 第2次総合計画（後期基本計画）策定についての認知
- パネル展示及び説明会の感想
- 「健康」応援都市の実現について
- 行政サービスにおけるエリア（圏域）について
- その他自由意見

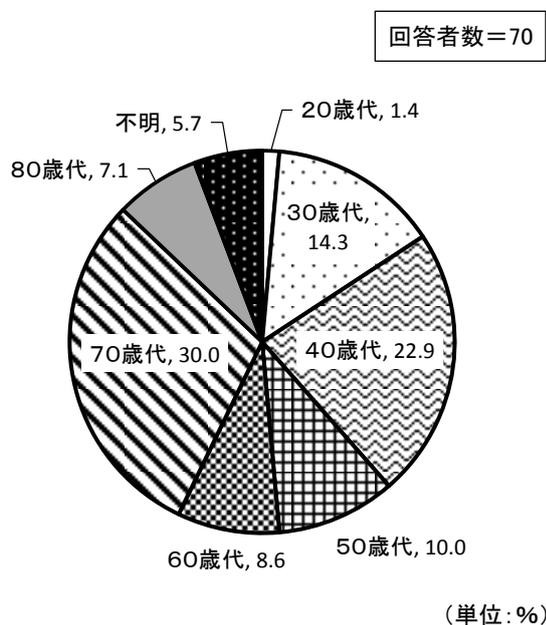
2. アンケート結果

<調査結果に関する留意事項>

- ・本調査の本文・表・グラフは、小数点以下第2位を四捨五入して端数処理を行っているため、各回答の割合の合計が100%にならない場合や、内訳の合計値が表示されている値の合計と一致しない場合があります。
- ・複数回答の設問では、各回答の割合の合計が100%にならない場合があります。

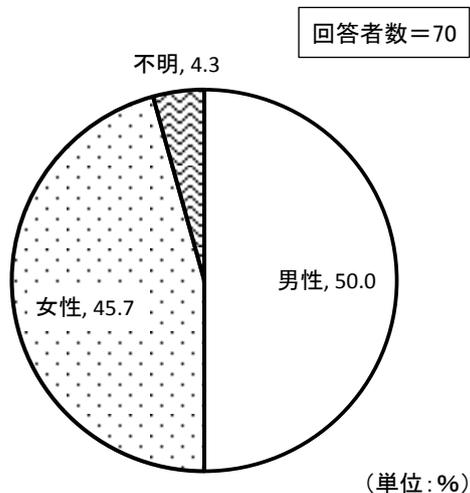
(1) 基本属性

□ 年齢



	回答者数	構成比 (%)
20歳代	1	1.4
30歳代	10	14.3
40歳代	16	22.9
50歳代	7	10.0
60歳代	6	8.6
70歳代	21	30.0
80歳代	5	7.1
不明	4	5.7
合計	70	100.0

□ 性別



	回答者数	構成比 (%)
男性	35	50.0
女性	32	45.7
不明	3	4.3
合計	70	100.0

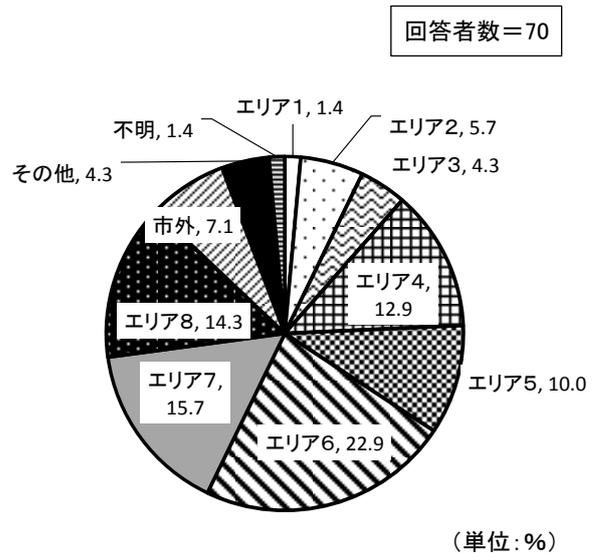
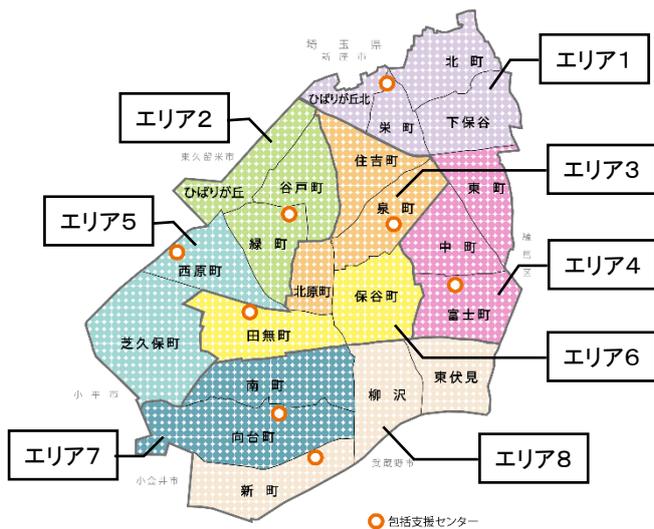
□ 居住地（行政サービスにおける現エリアでの区分）

現エリア(圏域)区分	町名	町別集計		現エリア別集計	
		回答者数	構成比 (%)	回答者数	構成比 (%)
エリア1	ひばりが丘北	0	0.0	1	1.4
	栄町	0	0.0		
	北町	1	1.4		
	下保谷	0	0.0		
エリア2	緑町	1	1.4	4	5.7
	谷戸町	1	1.4		
	ひばりが丘	2	2.9		
エリア3	北原町	1	1.4	3	4.3
	泉町	1	1.4		
	住吉町	1	1.4		
エリア4	富士町	6	8.6	9	12.9
	中町	3	4.3		
	東町	0	0.0		
エリア5	西原町	1	1.4	7	10.0
	芝久保町	6	8.6		
エリア6	田無町	8	11.4	16	22.9
	保谷町	8	11.4		
エリア7	南町	8	11.4	11	15.7
	向台町	3	4.3		
エリア8	新町	2	2.9	10	14.3
	柳沢	6	8.6		
	東伏見	2	2.9		
市外在住で当市に通勤・通学		5	7.1	5	7.1
その他		3	4.3	3	4.3
不明		1	1.4	1	1.4
合計		70	100.0	70	100.0

その他（3名）
 ・小平市
 ・東村山市
 ・施設利用者

※エリア順は、集計上分かりやすくするために並べたものです。

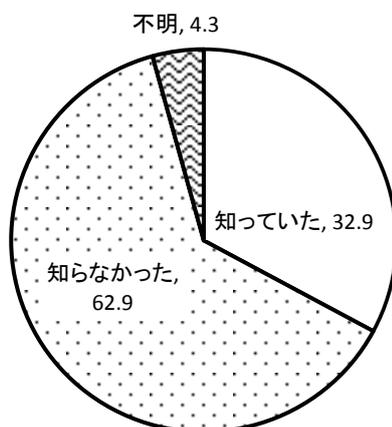
【現エリア（圏域）区分】



(2) パネル展示・説明会内容に関して

□ 第2次総合計画（後期基本計画）策定についての認知

問：第2次総合計画（後期基本計画）を策定していることを、ご存知でしたか。



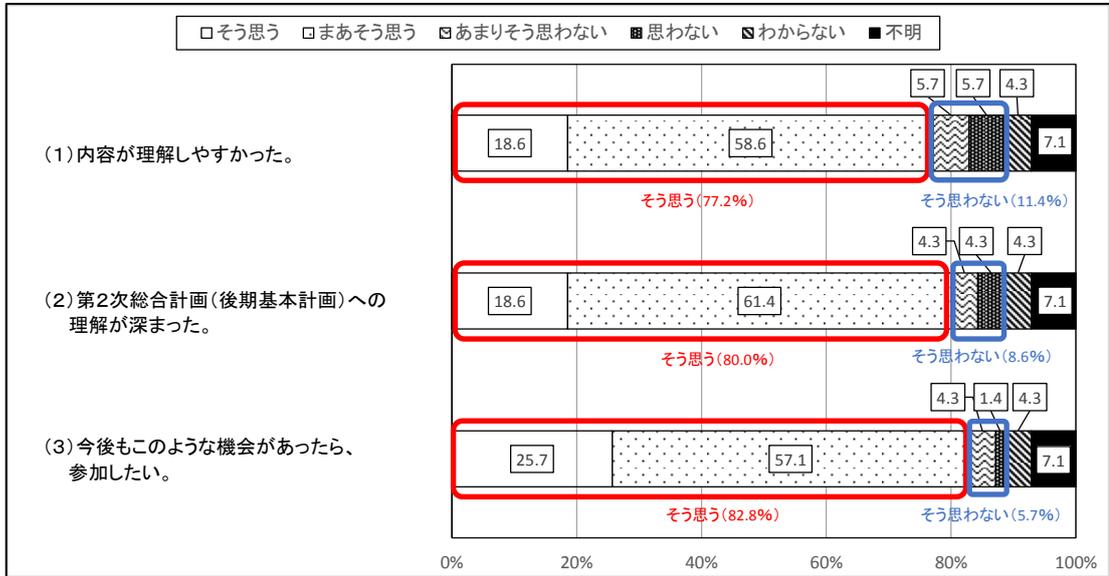
(単位:%)

	回答者数	構成比 (%)
知っていた	23	32.9
知らなかった	44	62.9
不明	3	4.3
合計	70	100.0

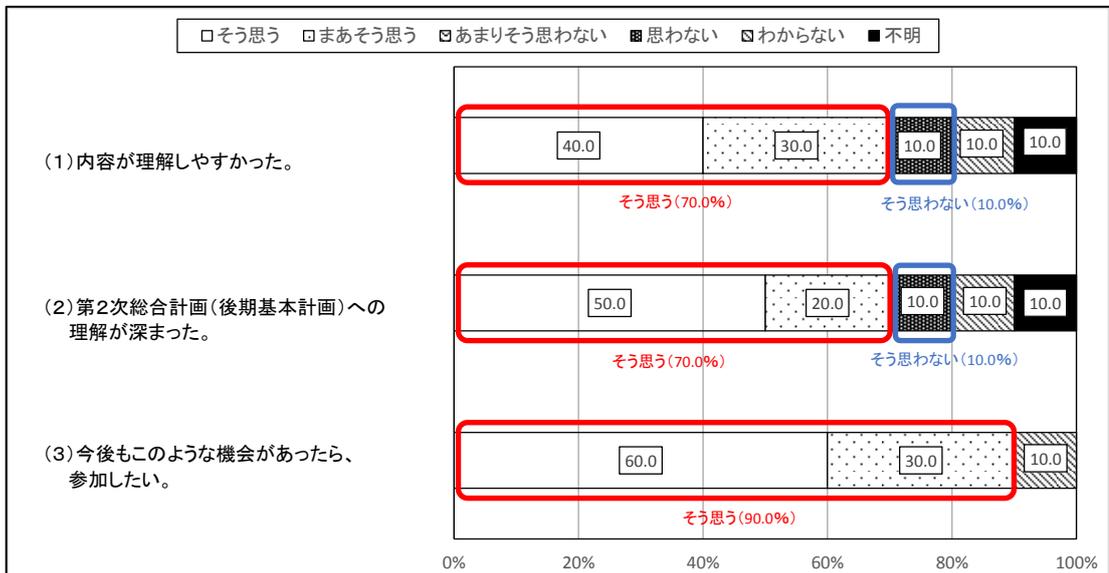
□ パネル展示及び説明会の感想

問：パネル展示や展示会に参加されていかがでしたか。

<パネル展示>

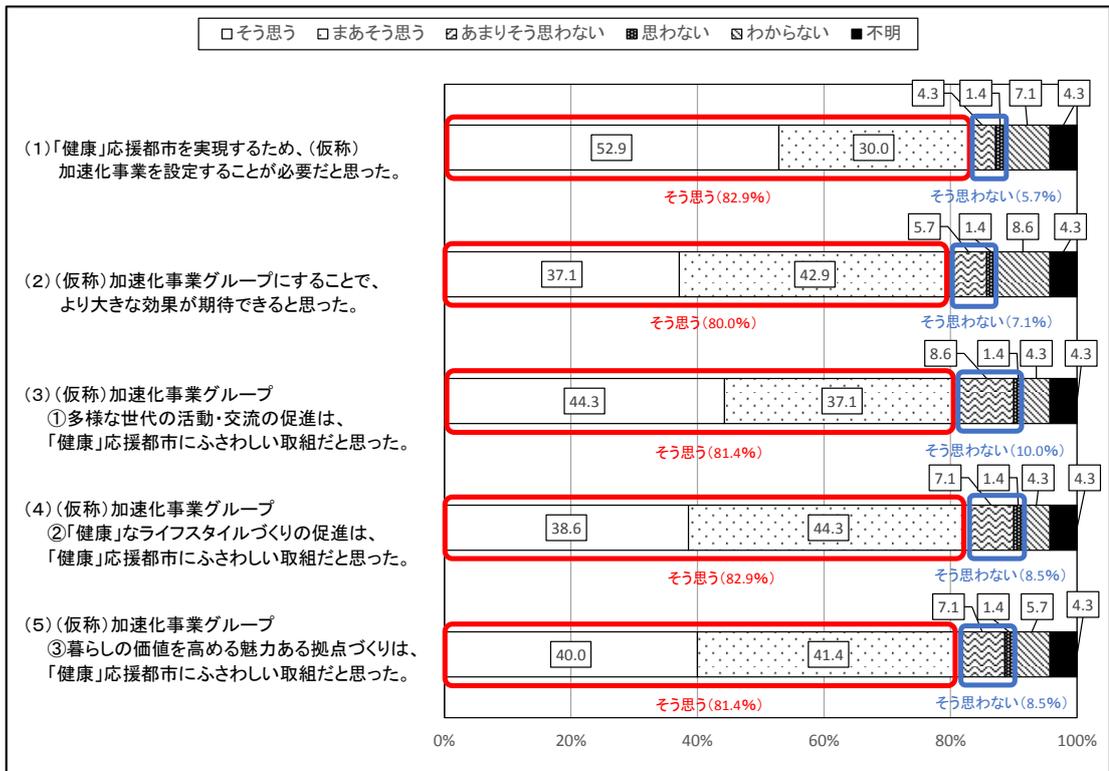


<説明会>



□ 「健康」応援都市の実現について

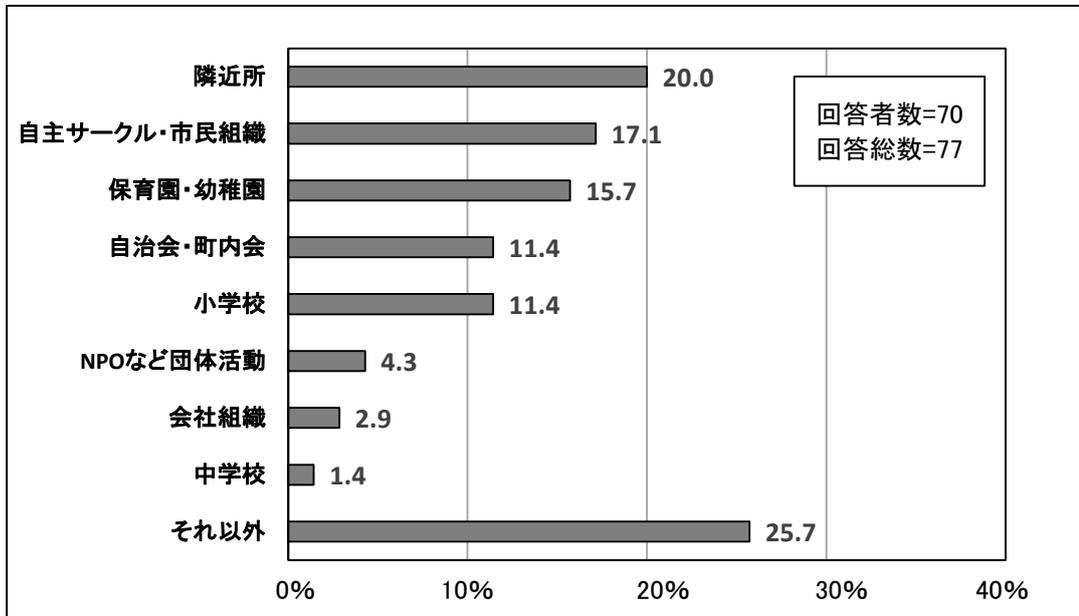
問：『「健康」応援都市の実現に向けて』のパネルについて伺います。



□ 行政サービスにおけるエリア（圏域）について

問：『行政サービスにおけるエリア（圏域）』のパネルについて伺います。

<日常生活における市内地域とのつながり（ネットワーク）の主となるもの>



	回答者数	構成比 (%)
隣近所	14	20.0
自主サークル・市民組織	12	17.1
保育園・幼稚園	11	15.7
自治会・町内会	8	11.4
小学校	8	11.4
NPOなど団体活動	3	4.3
会社組織	2	2.9
中学校	1	1.4
それ以外	18	25.7
不明(合計、グラフに含まない)	7	10.0
回答総数	77	110.0
回答者数		70

それ以外（18名）

<地縁関係>

・マンション

<事業者・団体関係>

・シルバー人材センター（2名）

・児童館のボランティア（2名）

・自営業の客つながり

・下水道組合

・生活協同組合

<文化・スポーツ関係>

・スポーツセンター（4名）

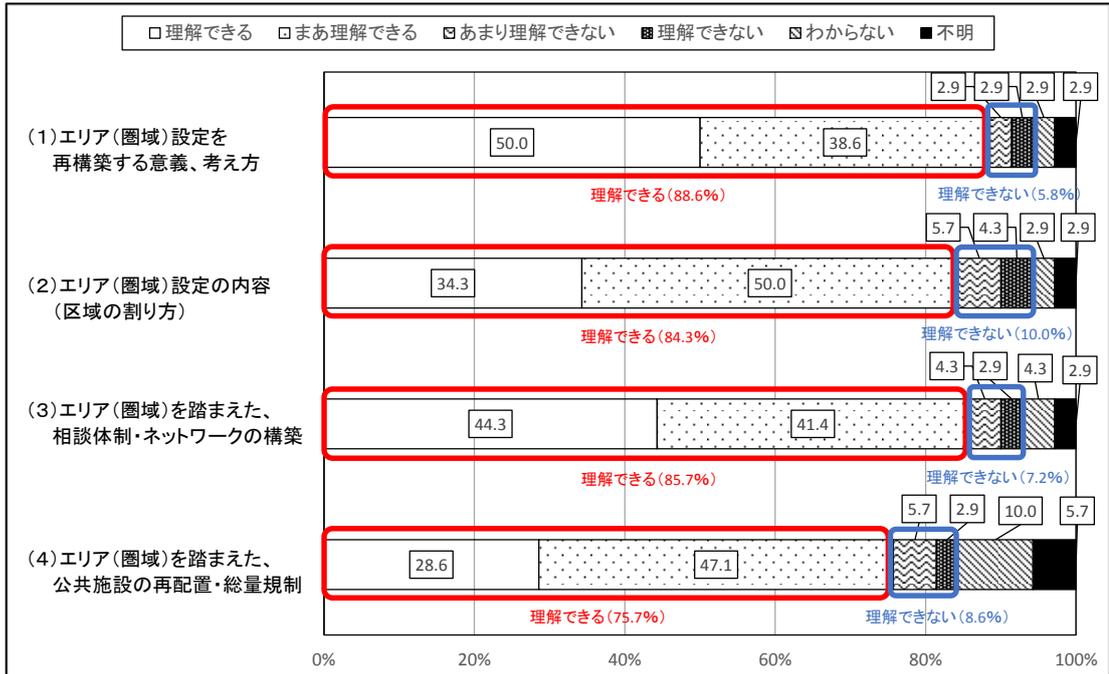
・スポーツ（3名）

・図書館

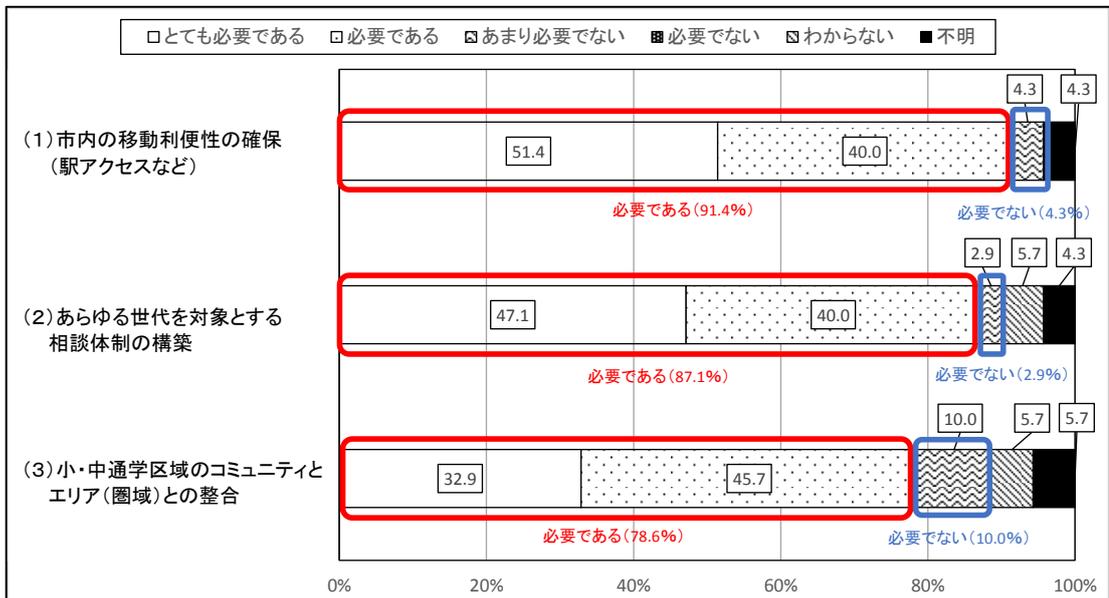
<その他>

・不明（2名）

<行政サービスにおけるエリア（圏域）設定の再構築>



<エリア（圏域）設定の再構築を進めていく上での課題>



(3) その他自由意見の施策別整理結果

第2次総合計画（後期基本計画） 素案における施策名	意見数 (件)	構成比 (%)	ご意見の総括
み1-1 市民主体のまちづくりの推進	8	11.4	まちづくりやコミュニティ活動の担い手の育成、町内会等のコミュニティ組織の育成及び連携
み1-2 協働のまちづくりの推進	1	1.4	市民や民間の力を活用することに対する肯定、活用するための工夫が必要
み2-1 人権と平和の尊重	0	0.0	—
み2-2 国際化の推進	0	0.0	—
み2-3 男女平等参画社会の推進	0	0.0	—
み3-1 開かれた市政の推進	9	12.9	市の取組や行政サービスについて市民に届く情報発信の必要性、どこでも身近に行政サービスを受けられる環境づくりに対する肯定（一方で充実に 対するコスト面での懸念）
み3-2 健全な自治体の経営	4	5.7	庁舎統合に対する方針の説明要望
創1-1 子どもの参画の推進	3	4.3	若いころからの地域とのつながりづくり
創1-2 子育て支援の充実	2	2.9	情報発信、子育て世帯の交流の場づくり
創1-3 学校教育の充実	1	1.4	特色ある学校づくり
創2-1 生涯学習環境の充実と主体的な学びの促進	6	8.6	活動の場の充実や利便性の向上
創2-2 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	5	7.1	活動の場の充実や利便性の向上、スポーツを介した つながりづくり
創2-3 文化芸術活動の振興	1	1.4	活動の場の充実や利便性の向上
笑1-1 地域福祉の推進	3	4.3	地域におけるつながりづくり
笑1-2 高齢者福祉の充実	8	11.4	サービスの充実、外出・買い物支援の充実
笑1-3 障害者福祉の充実	0	0.0	—
笑1-4 社会保障制度の運営	1	1.4	保険料の引き下げ
笑1-5 暮らしの相談機能の充実	1	1.4	身近に相談できる機能の充実
笑2-1 健康づくりの推進	4	5.7	健診の受診率向上、医療機関の充実
笑2-2 高齢者の社会活動や生きがいづくりの充実	4	5.7	高齢者の外出・移動支援、社会参加の機会や つながりづくり
笑2-3 障害者の社会参加の拡大	0	0.0	—
環1-1 みどりの保全・活用	3	4.3	既存公園の整備、東大農場の活用
環1-2 みどり空間の創出	1	1.4	身近な大規模公園の整備
環2-1 低炭素型まちづくりの推進	0	0.0	—
環2-2 循環型社会の構築	0	0.0	—
環2-3 生活環境の維持	0	0.0	—
安1-1 住みやすい住環境の整備	1	1.4	空き家を活用した交流拠点づくり
安1-2 体系的な道路網の整備	1	1.4	田無駅南口の整備、計画道路の整備推進
安1-3 人と環境にやさしい交通環境の整備	10	14.3	バス交通の充実、道路・歩道の危険箇所の解消、 自転車走行環境の整備
安2-1 地域の危機対応力の向上	5	7.1	災害に強い町づくり、避難場所と学校区域の整合
安2-2 防犯・交通安全の推進	0	0.0	—
活1-1 産業の振興	3	4.3	身近な小売店舗の充実
活1-2 新産業の育成	0	0.0	—
活2-1 まちの魅力の創造	3	4.3	人が集まり生き生きと活動できる場づくり
全般	4	5.7	長期的な視点をもった計画策定、若い世代の呼び 込み
その他	8	11.4	—
意見合計	100	142.9	—
回答総数	70	100.0	—

※黄色網掛け部分は構成比が10%以上

3. 参考資料

(1) アンケート調査票

**西東京市第2次総合計画(後期基本計画)
素案に関するアンケート ～ご協力をお願いします～**



いこーな
@シノエイ/西東京市

■ 問1：あなた自身について、お尋ねします。
 ○年齢 ____歳代 ○性別 男性・女性
 ○お住まいの地域

1. 田無町	2. 南町	3. 西原町	4. 緑町	5. 谷戸町	6. 北原町	7. 向台町
8. 芝久保町	9. 新町	10. 柳沢	11. 東伏見	12. 保谷町	13. 富士町	14. 中町
15. 東町	16. 泉町	17. 住吉町	18. ひばりが丘	19. ひばりが丘北	20. 栄町	
21. 北町	22. 下保谷	23. 市外在住で当市に通勤・通学	24. その他()			

■ 問2：第2次総合計画(後期基本計画)を策定していることを、ご存知でしたか。

1. 知っていた	2. 知らなかった
----------	-----------

■ 問3：パネル展示や説明会に参加されていたかがでしたか。(あてはまるもの1つに○)

項目	評価	パネル展示					説明会(※アスタで実施)				
		そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	思わない	わからない	そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	思わない	わからない
(1)	内容が理解しやすかった。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)	第2次総合計画(後期基本計画)への理解が深まった。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)	今後もこのような機会があったら、参加したい。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

■ 問4：5枚目のパネルについて伺います。(あてはまるもの1つに○)

「健康」応援都市の実現について		そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	思わない	わからない
(1)	「健康」応援都市を実現するため、(仮称)加速化事業を設定することが必要だと思った。	1	2	3	4	5
(2)	(仮称)加速化事業をグループにすることで、より大きな効果が期待できると思った。	1	2	3	4	5
(3)	(仮称)加速化事業グループ①多様な世代の活動・交流の促進は、「健康」応援都市にふさわしい取組だと思った。	1	2	3	4	5
(4)	(仮称)加速化事業グループ②「健康」なライフスタイルづくりの促進は、「健康」応援都市にふさわしい取組だと思った。	1	2	3	4	5
(5)	(仮称)加速化事業グループ③暮らしの価値を高める魅力ある拠点づくりは、「健康」応援都市にふさわしい取組だと思った。	1	2	3	4	5

～裏面に続きます～

<裏面>

■ 問5：6枚目のパネルについて伺います。(あてはまるもの1つに○)

日常生活(普段の生活)における市内地域とのつながり(ネットワーク)について、あなたにとって主となるものは何ですか。	1.隣近所	2.自治会・町内会	3.会社組織
	4.保育園・幼稚園	5.小学校	6.中学校
	7.自主サークル・市民組織	8.NPOなど団体活動	
	9.それ以外()		

■ 問6：引き続き、6枚目のパネルについて伺います。(あてはまるもの1つに○)

行政サービスにおけるエリア(圏域)設定の再構築		理解できる	理解できる まあ	理解できない あまり	理解できない	わからない
(1)	エリア(圏域)設定を再構築する意義、考え方	1	2	3	4	5
(2)	エリア(圏域)設定の内容(区域の割り方)	1	2	3	4	5
(3)	エリア(圏域)を踏まえた、相談体制・ネットワークの構築	1	2	3	4	5
(4)	エリア(圏域)を踏まえた、公共施設の再配置・総量抑制	1	2	3	4	5

■ 問7：引き続き、6枚目のパネルについて伺います。(あてはまるもの1つに○)

エリア(圏域)設定の再構築を進めていく上での課題		必要である とても	必要である	必要でない あまり	必要でない	わからない
(1)	市内の移動利便性の確保(駅アクセスなど)	1	2	3	4	5
(2)	あらゆる世代を対象とする相談体制の構築	1	2	3	4	5
(3)	小・中通学区域のコミュニティと、エリア(圏域)との整合	1	2	3	4	5

■ 問8：その他、ご意見がありましたら、自由にご記入ください。



アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

(2) 展示パネル

第2次総合計画 後期基本期計画の策定を進めています

西東京市では、2014（平成26）年度にスタートした第2次総合計画に基づき、まちづくりを進めています。しかしながら、人口減少や高齢化等をはじめ、社会情勢は変化しており、そうした変化に対応し、まちづくりに取り組むことが求められています。そこで、市を取り巻く社会情勢等の現状を分析し、多くの市民の皆さまから、将来のまちづくりに対する意向をうかがった上で、まちづくりの基本理念である「やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ」を実現するため、現在、**後期基本計画**の策定を進めています。

● 総合計画とは

総合計画は、総合的、計画的に行政を運営するための指針となる、市の最上位計画です。基本構想、基本計画、実施計画で構成されます。今回策定するのは、2019年度～2023年度の5年間を計画期間とする、**後期基本計画**です。



● 基本理念と将来像、6つのまちづくりの方向

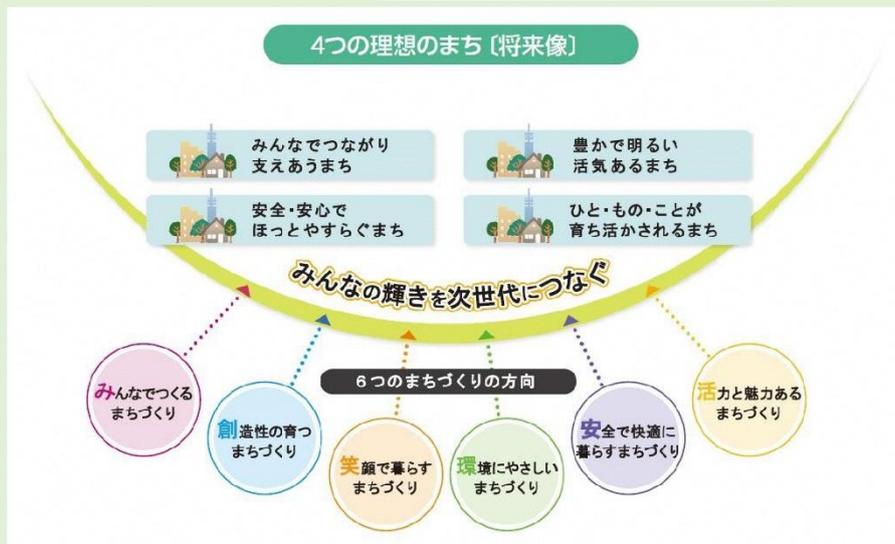
第2次基本構想では、わたしたちの望みとして、まちづくりの基本理念を次のとおり掲げています。

やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ

第2次基本構想の策定にあたっては、東日本大震災の教訓として、「やさしさ」や人と人との「ふれあい」は、人を思いやる心によって生まれ、地域の助けあい・支えあいや人と人との絆となって、地域における強い力となることを再認識しました。わたしたちがこのまちを愛し、「まちを楽しむ」ことから一歩前へ踏み出し、「みんなでまちをつくる」ことに参画し、みんなが輝くことのできる魅力あるまちを築くことで、このまちに暮らす誇りを次世代へとつなげることができるとの思いから、第1次基本構想に引き続き、この理念を掲げています。

さらに、基本理念をかなえるため、4つの理想のまち（将来像）を掲げ、まちづくりの課題を解決するため、6つのまちづくりの方向を位置づけています。この6つのまちづくりの方向が、**後期基本計画**の施策体系のもととなります。

詳細は「後期基本計画の施策体系」パネルをご覧ください



これまでの検討経過

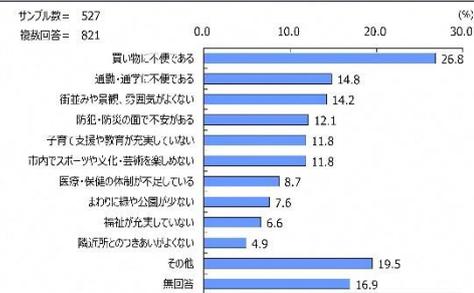
● 総合計画策定審議会

西東京市の現状と課題や、これを踏まえた各分野の施策見直しの方向性、**後期基本計画**において取り組むべき施策等について、検討を重ねてきました。

2017（平成29）年度			2018（平成30）年度		
第1回 8/23	第2回 11/6	第3回 1/31	第4回 3/8	第1回 4/16	第2回 5/21
<ul style="list-style-type: none"> 検討体制と検討スケジュール 第2次総合計画と総合戦略の説明 想定される検討課題 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎調査結果 <ul style="list-style-type: none"> 人口推計調査 社会経済分析 市民意識調査 施策評価結果 後期基本計画（総論） 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎調査結果 <ul style="list-style-type: none"> 社会経済分析 企業・団体ヒアリング 後期基本計画（総論・各論） 第2次総合計画と総合戦略の整理 行政サービスにおけるエリア（圏域） 	<ul style="list-style-type: none"> 後期基本計画の施策体系 第2次総合計画と総合戦略の整理 後期基本計画（各論） （仮称）加速化事業グループ 	<ul style="list-style-type: none"> 後期基本計画の施策体系 後期基本計画（各論） （仮称）加速化事業グループ 	<ul style="list-style-type: none"> 「まちづくり若者サミット」での検討結果 行政サービスにおけるエリア（圏域） 後期基本計画（総論・各論） （仮称）加速化事業グループ

● 市民意識調査

－住み心地がよくないと感じる理由の上位は、買い物や通勤・通学の不便さ、街並みや景観がよくないこと－



調査対象：市内に居住する満18歳以上の男女個人5,000人を無作為抽出
 調査方法：郵送による調査票の配布・回収
 調査期間：2017（平成29）年6月13日（火）～6月30日（金）
 回収率：43.8%

● 企業・団体ヒアリング

－行政との協働を進める上では、相談しやすい窓口づくりや継続のための体制・仕組みづくりが課題－

- 行政との協働におけるメリット**
- 市民等の信頼や理解を得やすい
 - 行政がもつ市内事業者とのネットワークや広報等の情報発信媒体を活用できる
- 行政との協働の難しさ、課題**
- 行政の迅速・柔軟な対応
 - 相談しやすい行政の窓口づくり（相談先がわかりにくい、窓口が縦割り）
 - 協働を継続するための行政の体制づくり
 - 行政・市民・企業の役割分担の明確化

- 若者や子育て世帯の定住化、誰もが長く健康で暮らせる、まちづくりにおいて重要なこと**
- 地域との接点や居場所（子ども、高齢者、若者、子育て世代など）
 - 外出や地域活動への参加を促す機会（若者、リタイア世代など）
 - 住民同士のつながり、多世代交流
 - 市内内外への情報発信力・PR力



ヒアリング協力企業・団体数：33団体
 実施期間：2017（平成29）年10月～11月

● まちづくり若者サミット

日頃あまり市政に関わる機会が少ない18歳以上40歳未満の若い世代の方々のご意見を**後期基本計画**に反映させるため、まちづくり若者サミットを開催しています。

公募でお集まりいただいた18名で構成する若者サミットでは、西東京市の強み・弱みや、若者が住みたい・住み続けたいまちの実現に向けて必要な取組について、2017（平成29）年9月より、月1回程度の議論を通じて提案をとりまとめ、「まちづくりシンポジウム」で発表しました。

A グループからの提案概要

「ポタニカルシティ 西東京」

II
 健やかな植物のパワーを日々の暮らしに取り入れることができる街

【取組提案】

- ① 地元野菜を味わえるスムージー
- ② 多様な世代が楽しめる緑の公園
- ③ 暮らしに身近な体験農園



市内の農家を視察

B グループからの提案概要

「わ」のまち

一体感のあるまちづくり
 人とつながる まちとつながる 未来とつながる

【取組提案】

- ① 駅前広場とぎわいのコラボレーション
- ② 広場を活用したイベントの開催
- ③ 市の魅力を知ってもらう「まるっと西東京」プロモーション活動



検討の様子

● まちづくりシンポジウム

□ 基調講演

「いっしょにみつけよう、人とまちの『健康』を」
 講演者：WHO健康都市連合事務局長、東京医科歯科大学教授、審議会委員

□ まちづくりゆめトーク

「西東京市の将来像」
 コーディネーター：首都大学東京教授、審議会会長
 パネリスト：各分野で活動の団体代表者の方4名

□ 若者サミットからの提案

「住みたい・住み続けたい魅力ある西東京市のまちづくりに向けて」

128名の皆さまにご参加いただきました!!



基調講演の様子

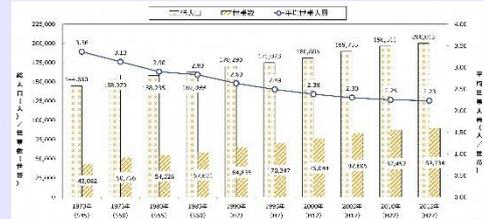
計画策定の背景、計画を推進するための考え方

● 人口の推移

<国勢調査による2015（平成27）年の人口・世帯>

- ◆ 総人口：200,012人（増加傾向）
- ◆ 世帯数：89,734世帯（増加傾向）
- ◆ 平均世帯人員：2.23人（減少傾向）

総人口は年々増加しており、2017年には20万人に到達一方、1世帯あたりの人員数は年々減少



<2017（平成29）年の年齢3区分別人口の構成比>

- ◆ 年少人口（0～14歳）の割合：12.3%
- ◆ 生産年齢人口（15～64歳）の割合：63.9%
- ◆ 老年人口（65歳以上）の割合：23.7%

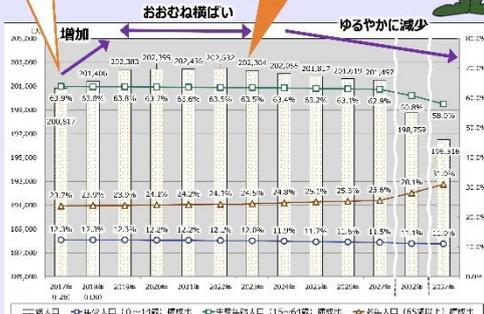
生産年齢人口（2010年以降）及び年少人口（2011年以降）の割合が減少する一方、老年人口の割合が増加



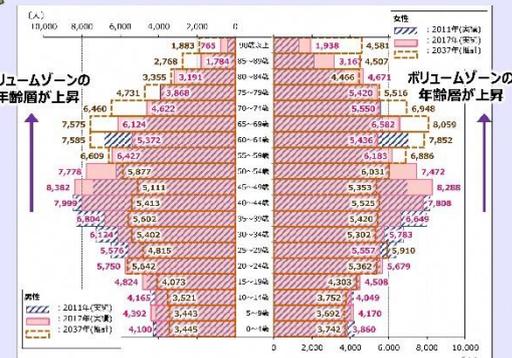
● 将来人口の見通し

2017.10.1 総人口(実績) 200,817人

後期基本計画 目標年 202,304人

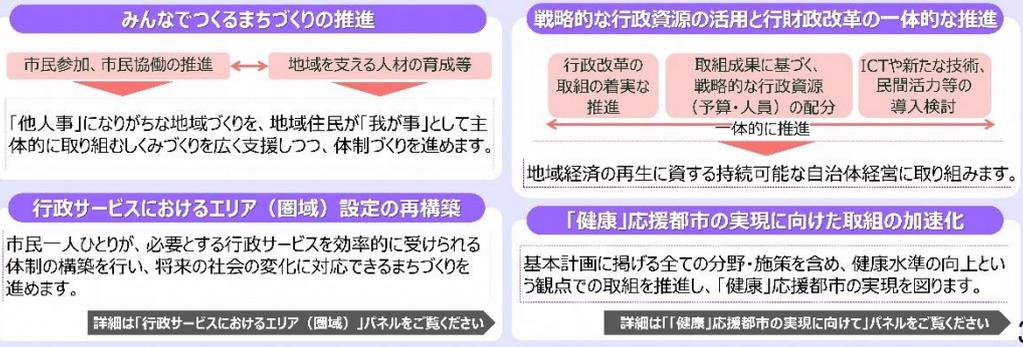


<2011・2017・2037年の人口ピラミッド比較>



● 計画を推進するために

後期基本計画では、各施策、事業を推進するに当たり、次の4つの点を計画推進のための基本的な考え方としています。



後期基本計画の施策体系

● 施策体系



● 前期基本計画からの見直し

ぜひ、みなさまのご意見をお寄せください！
※会場にアンケート調査票を設置しております。



「健康」応援都市の実現に向けて

西東京市は、2011（平成23）年に健康都市を宣言し、2014（平成26）年7月8日にはWHO（世界保健機関）西太平洋地域事務局の呼びかけにより創設された、健康都市連合に加盟しました。
また、市のまち・ひと・しごと創生総合戦略（2015（平成27）年度策定）では、



「健康」応援都市の実現を戦略の基軸とし、こころやかなら健康はもとより、地域やまち全体の「健康」の達成を目指しています。
後期基本計画では、「健康」応援都市の実現に向けた取組をさらに進めるため、さまざまな工夫を行う予定です。

● 総合戦略の統合

後期基本計画に総合戦略を統合するとともに、計画推進のための基本的な考え方の1つに、「健康」応援都市の実現に向けた取組の加速化を掲げます。

詳細は「計画策定の背景、計画を推進するための考え方」パネルをご覧ください

● 独自の健康指標の設定

WHOが示す健康都市指標をもとに、市独自の健康指標を設定し、後期基本計画の各施策の成果指標に盛り込むことを検討しています。

<WHOの示す健康都市指標（一例）>



<後期基本計画の各施策の成果指標>



ぜひ、みなさまのご意見をお寄せください！
※会場にアンケート調査票を設置しております。

● (仮称) 加速化事業の設定

施策に位置づける計画事業のうち、特に「健康」応援都市の実現に資する事業を(仮称)加速化事業に設定します。計画事業は、今後、検討・整理していきます。

● (仮称) 加速化事業グループの設定

(仮称)加速化事業を、施策を横断して一体的にまとめた(仮称)加速化事業グループを設定します。グループとして取り組むことで、より大きな効果が期待できます。現在、いくつかのグループを設定することを検討しています。

① 多様な世代の活動・交流の促進

市に暮らす多様な世代が、いつまでも生き生きと活動するとともに、世代を越えて活発に交流できるよう、外出を促す仕掛けやまちなかの居場所づくりなどを分野横断的に展開します。



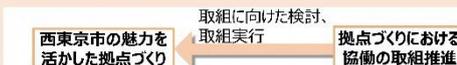
② 「健康」なライフスタイルづくりの促進

市に暮らすことで、一人ひとりの価値観に合わせた「健康」なライフスタイルが実現できるよう、健康意識の醸成に向けた教育や予防活動の充実、多様な働き方への対応などを分野横断的に展開します。



③ 暮らしの価値を高める魅力ある拠点づくり

市民がこれからもまちを楽しみ、いきいきと住み続けられるよう、また、西東京市ならではのライフスタイルを求めての流入が増加し、まちの活性化につながるよう、暮らしの価値を高める魅力的な拠点づくりに向けた取組を分野横断的に展開します。



行政サービスにおけるエリア（圏域）

人口推計調査では、今後の人口減少や少子高齢社会の進展等が予測されており、人口構造や社会の変化、新たな行政需要などに対応した行政運営とともに、市民にとって身近で、利便性が高く、分かりやすい相談体制の充実が求められています。

● 行政サービスにおけるエリア（圏域）設定の再構築

将来にわたって、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるには、市民と行政との連携・協働の推進や、地域の課題を地域で解決するための体制づくり、顔の見えるつながりの構築が重要です。

そのため、右の地図イメージに示すように、現在の行政サービスや地域ネットワークを整理しつつ、4つの日常生活圏域と8つの包括支援センター地区を基本とした地域づくりを進めます。

- ◆ 持続可能な行政サービスの提供を図るための、情報通信技術を活用した相談ネットワークの構築
- ◆ 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の再配置・総量抑制 など

2025年からの開始が予定されている地域包括ケアシステムへの対応
誰もが支えあう地域共生社会の実現

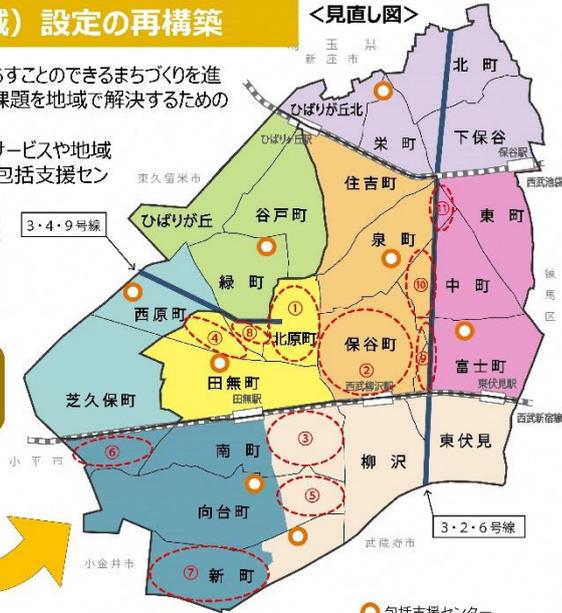
<現状図>



エリア（圏域）設定の再構築スケジュール

年度	関連する動き	機能面等の整理
2019年		
2020年	次期総合管理計画 子育て・子育てのひろがり 子育て世代包括支援センター 事業	児童福祉施設「アトリエ」の事業委託 児童福祉施設「アトリエ」の事業委託 児童福祉施設「アトリエ」の事業委託
2021年	高齢者保健福祉計画（8期）	地域福祉計画 高齢者福祉計画 高齢者福祉計画
2022年		地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域 地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域
2023年		地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域 地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域
2024年	地域包括ケアシステム構築 高齢者保健福祉計画（9期） 都市計画マスタープラン 教育計画	地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域 地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域
2025年	地域包括ケアシステム構築 子育て・子育てのひろがり	地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域 地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域
2026年	道路整備計画	地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域 地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域
2027年		地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域 地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域
2028年		地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域 地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域
2029年		地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域 地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域
2030年		地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域 地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域
2031年		地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域 地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域
2032年		地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域 地域包括ケアシステム構築 小福祉圏域
2033年	子育て支援	新たな相談体制構築

<見直し図>



○ 包括支援センター

町・丁目・番地	包括支援センター名	
	変更前	変更後
① 北原町	泉町	田無町
② 保谷町	田無町	泉町
③ 南町一丁目～三丁目	向台町	新町
④ 西原町一丁目及び二丁目	西原町	田無町
⑤ 向台町一丁目	向台町	新町
⑥ 芝久保町一丁目	西原町	向台町
⑦ 新町三丁目～六丁目	新町	向台町
⑧ 緑町一丁目（1番の一部及び2番から8番）	緑町	田無町
⑨ 富士町一丁目及び六丁目の各一部	富士町	泉町
⑩ 中町一丁目及び六丁目の各一部	富士町	泉町
⑪ 泉町三丁目、五丁目及び六丁目の各一部	泉町	富士町

● 計画策定に向けた今後のスケジュール

- 2018（平成30）年7月：パブリックコメント、説明会等の実施
- 2018（平成30）年8月：意見のとりまとめ、反映検討、審議会中間答申
- 2018（平成30）年9月：西東京市議会での審議、審議結果の反映
- 2019年1～2月：後期基本計画とりまとめ、審議会最終答申
- 2019年4月：計画期間の開始

ぜひ、みなさまのご意見をお寄せください！
※会場にアンケート調査票を設置しております。

